

2025年1月13日 日向灘の地震 (2024年8月8日からの地震活動)

(1) 概要

2025年1月13日21時19分に日向灘の深さ36kmでM6.6の地震が発生し、宮崎県宮崎市、高鍋町及び新富町で震度5弱を観測したほか、中部地方から九州地方にかけて震度4～1を観測した。また、宮崎県南部平野部、宮崎県南部山沿い及び熊本県球磨で長周期地震動階級2を観測したほか、九州地方及び鳥取県で長周期地震動階級1を観測した。この地震により、宮崎県の宮崎港^(注1)で23cm^(注2)の津波を観測するなど高知県から鹿児島県にかけて津波を観測した。

気象庁はこの地震に対して、最初の地震波の検知から6.1秒後の21時19分44.4秒に緊急地震速報(警報)を発表した。また、13日21時29分に高知県及び宮崎県に津波注意報を発表した(13日23時50分に津波注意報を全て解除)。

気象庁では、13日21時55分にこの地震が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始したことをお知らせする南海トラフ地震臨時情報(調査中)を発表し、13日22時30分から南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を臨時に開催し、この地震と南海トラフ地震との関連性について検討を行った。その結果、今回の地震は南海トラフ地震防災対策推進基本計画で示されたいずれの条件にも該当せず、南海トラフ地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる現象ではなかったことから、13日23時45分に南海トラフ地震臨時情報(調査終了)を発表した。

この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

この地震の震源付近では、2024年8月8日16時42分にM7.1の地震(深さ31km)が発生し、宮崎県日南市で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強～1を観測した。この領域では2024年8月8日から2025年1月31日までに震度1以上を観測した地震が55回(震度6弱:1回、震度5弱:1回、震度4:1回、震度3:7回、震度2:14回、震度1:31回)^(注3)発生した。

1月13日の地震により、負傷者4人、住家一部破損2棟の被害が生じた(2025年1月21日17時00分現在、総務省消防庁による)。

1月13日の地震による被害状況を表1-1に、2024年8月8日以降の最大震度別地震回数表を表1-2に、震度1以上の日別地震回数グラフを図1-1に、1月13日の地震における気象庁が発表した主な情報及び報道発表を表1-3に示す。

(注1) 国土交通省港湾局の観測施設。

(注2) 観測値は後日の精査により変更される場合がある。

(注3) 震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

表1-1 2025年1月13日の日向灘の地震による被害状況
(2025年1月21日17時00分現在、総務省消防庁による)

都道府県名	人的被害				住家被害		
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損
			重傷	軽傷			
人	人	人	人	棟	棟	棟	
大分県				1			
宮崎県				2			2
鹿児島県				1			
合計				4			2

表 1-4 震度 1 以上の月・日別最大震度別地震回数表
 (2024 年 8 月 8 日 16 時～2025 年 2 月 10 日 09 時、図 2-2 の領域 b 内の地震)
 (注) 以下のデータは速報値である。調査により変更される場合がある。

月・日別	最大震度別回数									震度 1 以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
8月8日～31日	16	5	3	0	0	0	1	0	0	25	25	
9月1日～30日	5	1	1	0	0	0	0	0	0	7	32	
10月1日～31日	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	34	
11月1日～30日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	35	
12月1日～31日	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4	39	
1月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
1月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
1月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
1月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
1月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
1月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	
1月7日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	40	
1月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	
1月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	
1月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	
1月11日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	
1月12日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	
1月13日	3	3	0	0	1	0	0	0	0	7	47	
1月14日	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	51	
1月15日	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	53	
1月16日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	
1月17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	
1月18日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	
1月19日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	
1月20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53	
1月21日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	54	
1月22日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
1月23日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
1月24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
1月25日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
1月26日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	54	
1月27日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	55	
1月28日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
1月29日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
1月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
1月31日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
2月1日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
2月2日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
2月3日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
2月4日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
2月5日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
2月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
2月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
2月8日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
2月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	
2月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	09時時点
総計(8月8日～)	31	14	7	1	1	0	1	0	0		55	

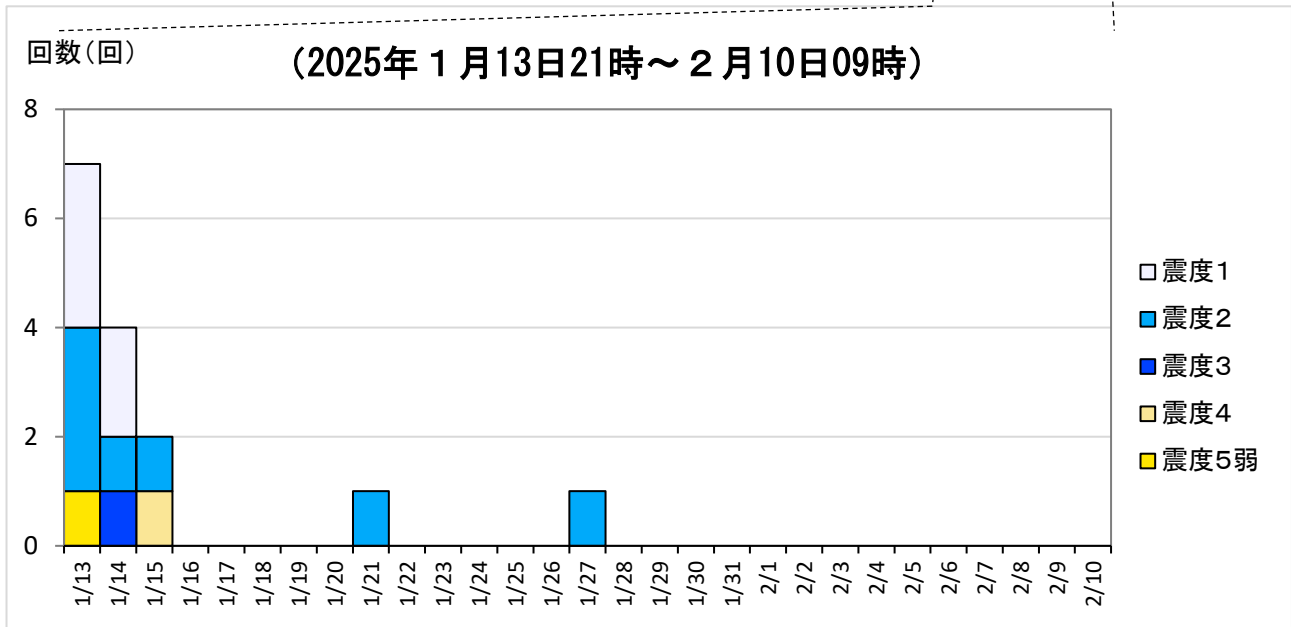
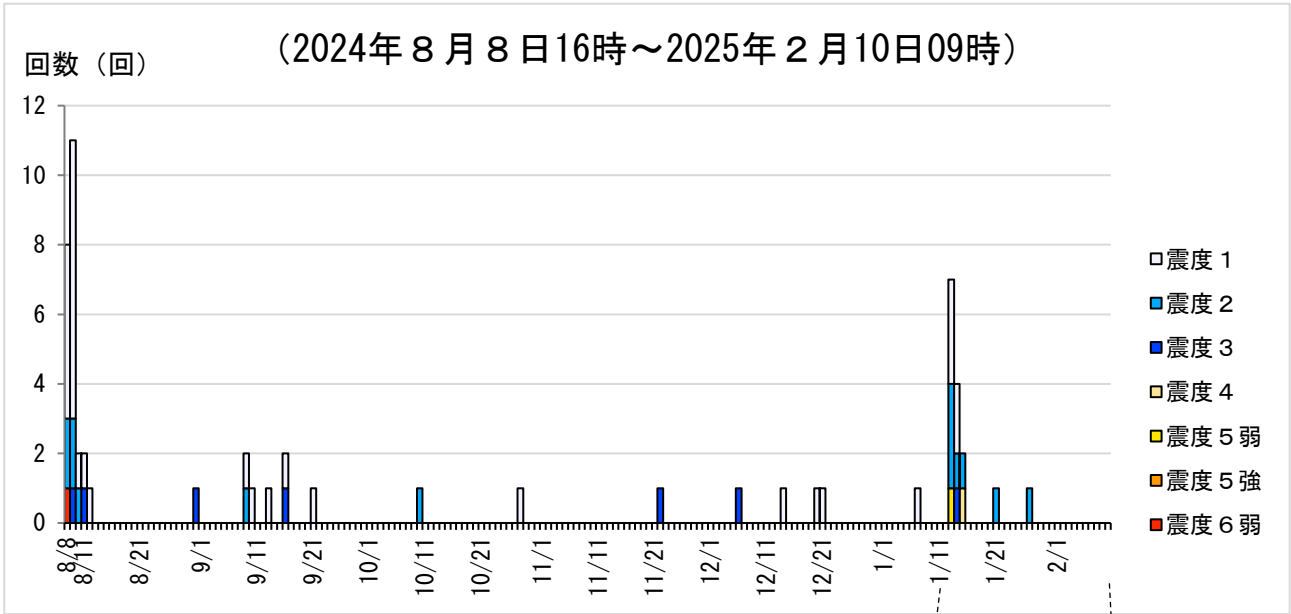


図1-1 震度1以上の日別最大震度別地震回数グラフ

(2) 地震活動

ア. 地震の発生場所の詳細及び2024年8月8日以降の地震活動

2025年1月13日21時19分に、日向灘の深さ36kmでM6.6の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

この地震の震源付近(領域b)では、2024年8月8日にM7.1の地震(最大震度6弱)が発生し、地震活動が活発となっていたが、時間の経過とともに地震回数は減少していた。この中で今回の地震が発生し、一時的に地震活動が活発となっていたが、時間の経過とともに地震の発生数は減少してきている。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M6.0以上の地震が今回の地震を含めて5回発生している。1996年10月19日に発生したM6.9の地震(最大震度5弱)では、高知県の室戸市室戸岬及び土佐清水で14cm、宮崎県の日南市油津及び鹿児島県の種子島田之脇で9cmの津波を、同年12月3日に発生したM6.7の地震(最大震度5弱)では、宮崎県の日南市油津及び高知県の土佐清水で12cmの津波を観測した(平常潮位からの最大の高さ)。また、2024年8月8日に発生したM7.1の地震(最大震度6弱)では、宮崎県の宮崎港で51cm、日南市油津で40cmの津波を観測した。

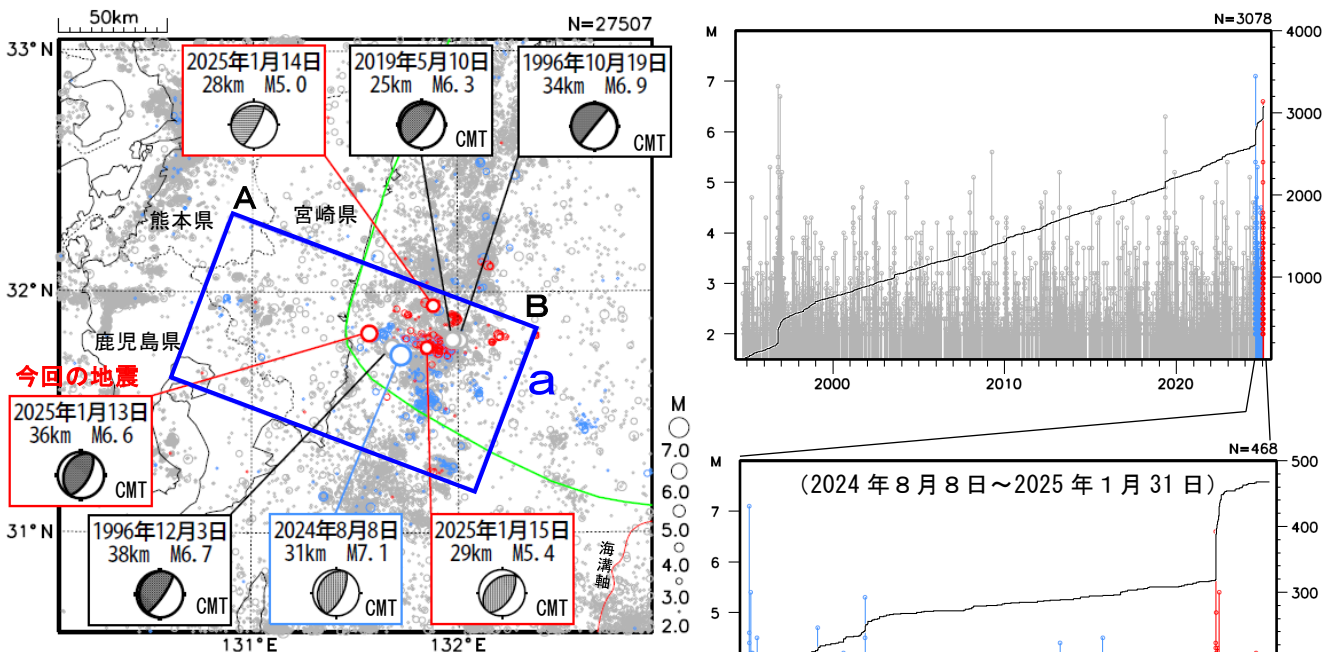


図2-1 震央分布図
(1994年10月1日~2025年1月31日
深さ0~100km, M≥2.0)
2024年8月8日以降の地震を水色○、
2025年1月13日以降の地震を赤色○で表示
緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

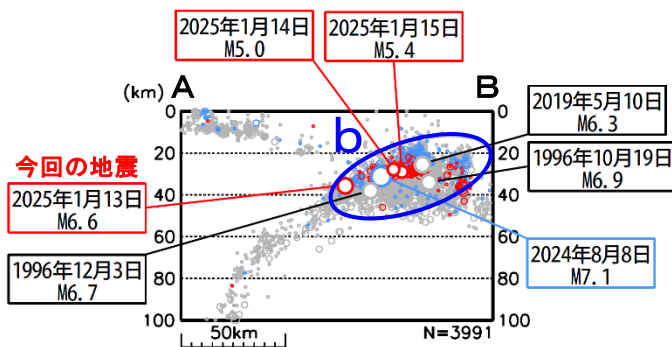


図2-2 領域a内の断面図(A-B投影)

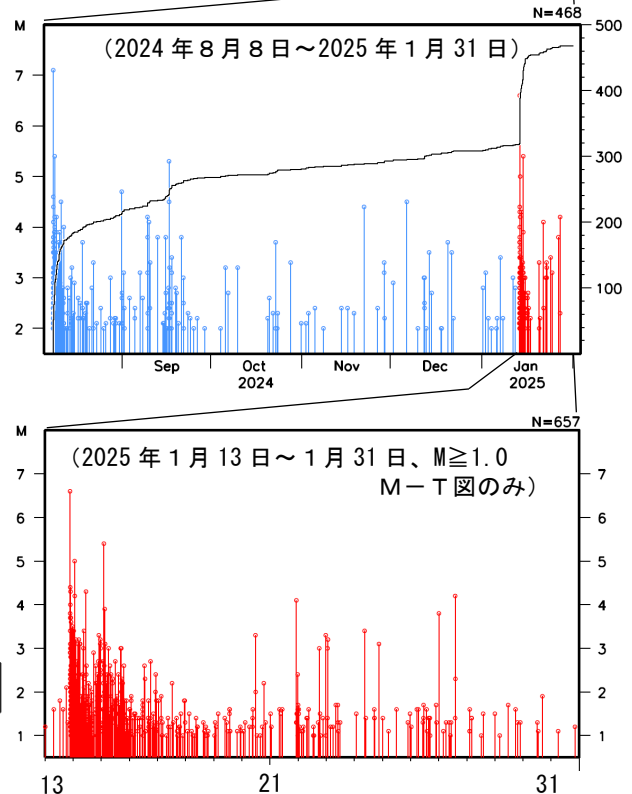


図2-3 領域b内のM-T図及び
回数積算図
2024年8月8日以降の地震を水色、
2025年1月13日以降の地震を赤色で表示

エ. 過去の地震活動

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が時々発生している。1968年4月1日に発生した「1968年日向灘地震」（M7.5、最大震度5）では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。この地震により、大分県の蒲江で240cm（全振幅）の津波を観測した（「日本被害津波総覧」による）。

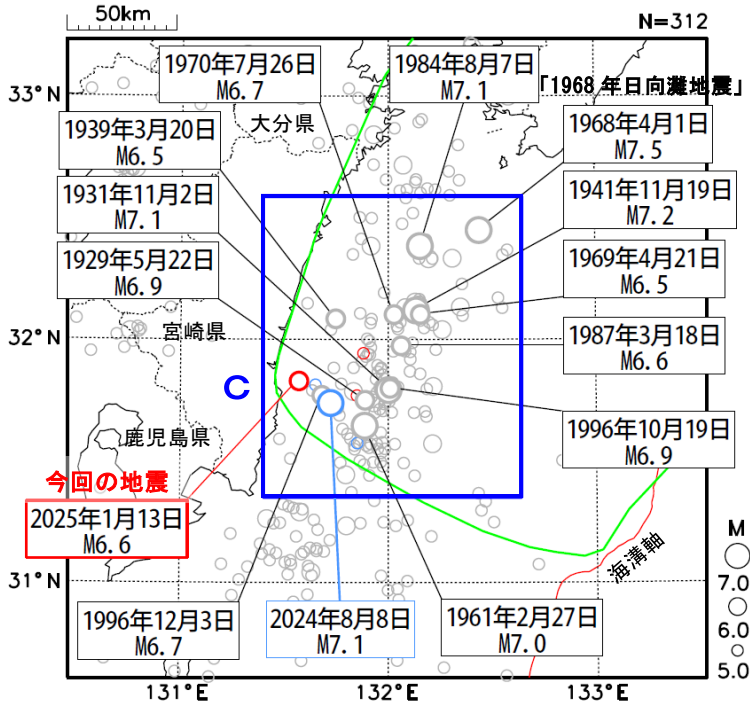


図2-12 震央分布図

(1919年1月1日～2025年1月31日、深さ0～100km、M≥5.0)

2024年8月8日以降の地震を水色○、
2025年1月13日以降の地震を赤色○で表示
緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

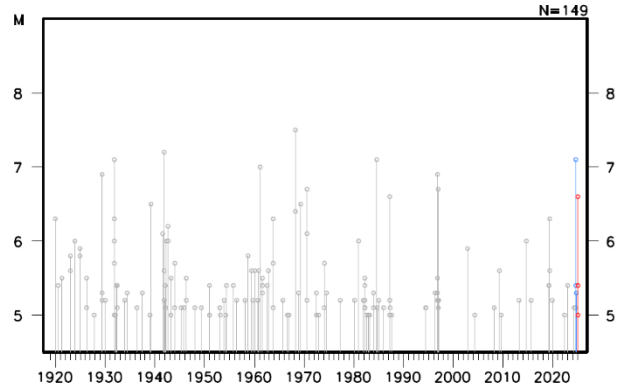


図2-13 領域c内のM-T図
2024年8月8日以降の地震を水色、
2025年1月13日以降の地震を赤色で表示

(6) 津波

ア. 2025年1月13日21時19分 日向灘の地震 (M6.6)

この地震により、宮崎県の宮崎港（国土交通省港湾局）で最大23cmの津波を観測したほか、高知県から鹿児島県にかけての太平洋沿岸で津波を観測した。なお、気象庁は、この地震に伴い、高知県及び宮崎県に津波注意報を発表した。

表6-1 津波観測値

都道府県	観測点名	所属	第一波	最大波	
			到達時刻	発現時刻	高さ (cm)
愛媛県	宇和島	気象庁	13日 --:--	14日 01:06	8
高知県	室戸市室戸岬	気象庁	13日 22:--	13日 22:17	10
	土佐清水	気象庁	13日 21:55	13日 22:20	13
宮崎県	日向市細島	宮崎県	13日 21:--	14日 00:05	6
	日南市油津	気象庁	13日 21:40	13日 22:05	15
	宮崎港	国土交通省港湾局	13日 21:41	14日 00:00	23
鹿児島県	志布志港	国土交通省港湾局	13日 23:--	14日 00:36	8
	種子島西之表	海上保安庁	13日 --:--	13日 23:31	8
	種子島熊野	気象庁	13日 --:--	13日 23:04	11

—は値が決定できないことを示す。
 ※観測値は後日の精査により変更される場合がある。
 ※所属機関の観測波形データをもとに気象庁が検出した値。

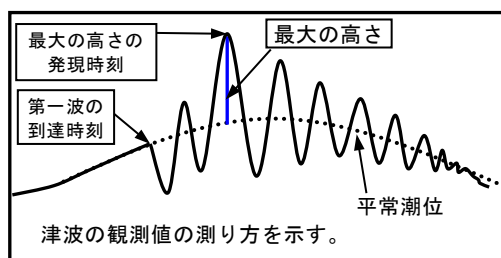


図6-1 津波の測り方の模式

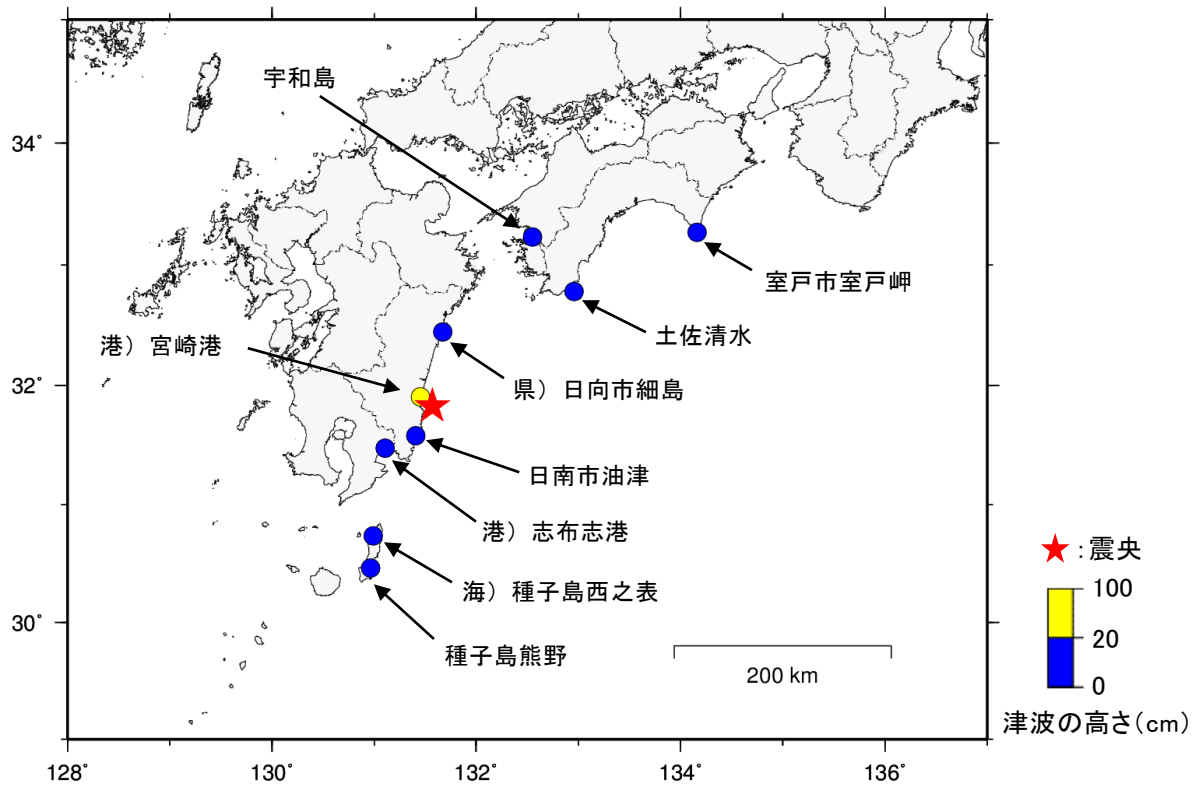


図 6-2 津波を観測した地点

※ 県) は宮崎県、港) は国土交通省港湾局、海) は海上保安庁の所属であることを表す。

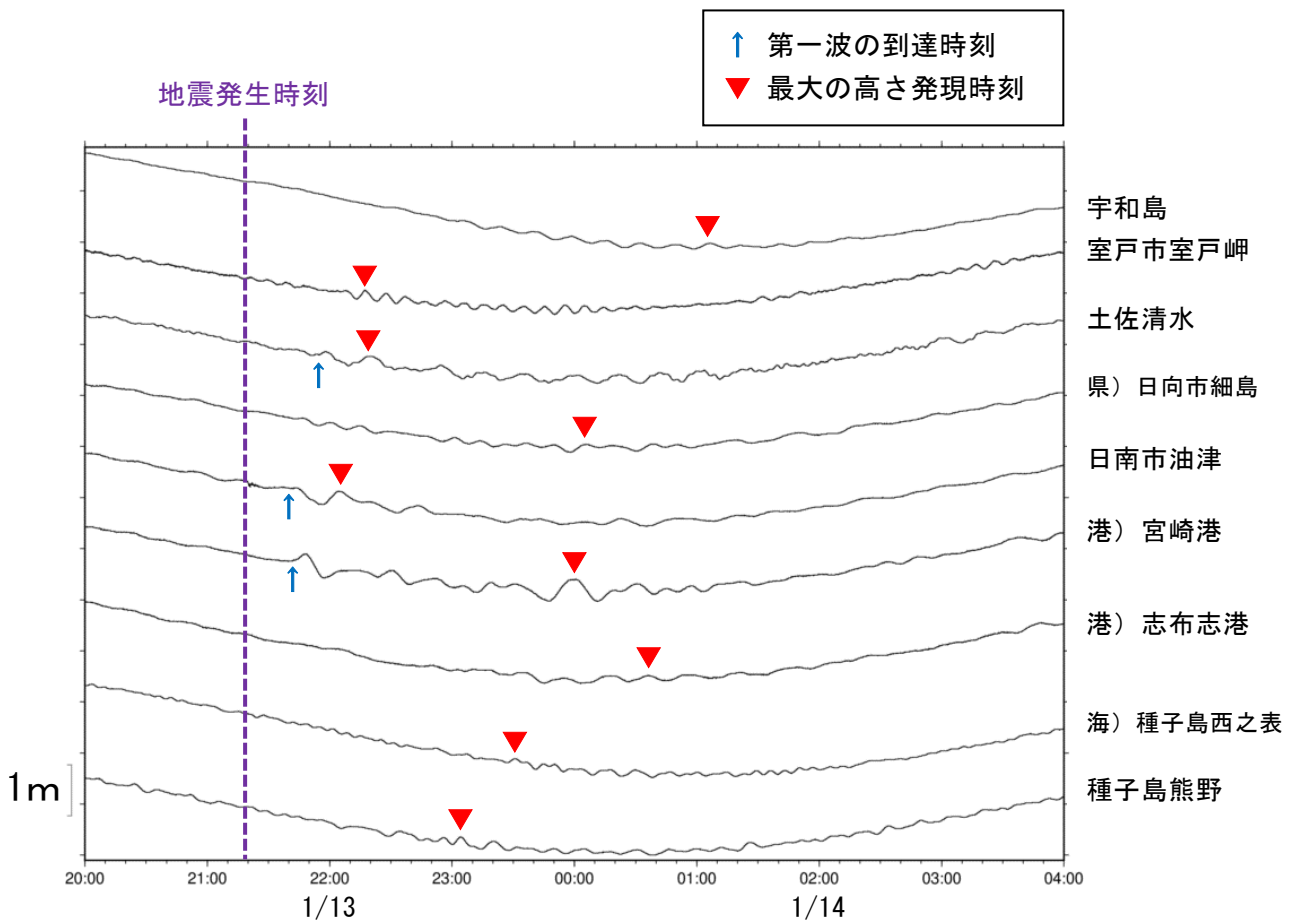


図 6-3 津波波形

※ 県) は宮崎県、港) は国土交通省港湾局、海) は海上保安庁の所属であることを表す。